

本学の共生とコミュニケーション」といった理念を礎に、子ども問題の専門家としての養成を図ろうとしたのが本学「子ども学部子ども学科」である。子ども学部子ども学科は、子どもと、それを取り巻く諸環境との関係を総合的に捉える視点に立脚し、その教育・研究を実践する目的で設立された。個々の人々の精神、身体、行動の成長発展は、それらの人々を取り巻く家族、社会、文化、自然等の様々な環境との相互作用で成立するものと思料する。特に、近年の少子化、高齢化、IT社会への移行など急激な社会的な変化が、今日の人々の生き方や価値観、行動様式に大きく影響を及ぼしてきた。そこで、これからの人間研究において、精神発達、身体発達を探求する場合においても、人間と家族、人間と社会、といったヒューマンエコロジーからの研究が有効であると思われた。人間は社会の中で孤立して生きていくわけにはいかない存在、換言すれば共存共栄的な生き方を選択せざるを得ない宿命をもつ存在である。こうした人間の行動様式を「共生」と「コミュニケーション」という言葉をキーワードに、教育学、心理学、社会学、福祉学、生活科学、行動科学、健康科学など諸学の総合的な、あるいは学際的な活動によって俯瞰的に攻究することが有効な手段であると考えた。

今後、ますますこうした個人としての人間の生き方、営みと対照的に、社会全体の中の一構成員としての自分というものを強く見極め、意識していかなくてはならない時代の到来を見据え、子ども研究においても、こうしたことを前提とした「子どもたちが社会の中で連携し、協力し、コミュニケーションしながら、ともに生きていく」という理想を相互に具現化していくといった新しい視点から子どもに関し総合的に教育研究を行なう組織として、本学に子ども学部が設置された。

本学部は、そのなかでも特に、設置当初より、子ども研究を進める過程の中で、幼児期に着目し、人間の成長の初期段階ともいえる幼児期の教育についての研究と実践を主たる目標の一環としてきた経緯がある。本学部設置当初から、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格について取得可能なカリキュラム編成を実施し、文部科学省から幼稚園教諭一種免許状に関する課程認定の認可を受け、これにより、毎年、多くの学生が幼稚園教諭として幼児教育の現場に就職するという実績を築き上げてきた。こうした幼稚園教諭養成の過程の中でも、こうした本学の建学の精神は受け継がれている。子どもたちの気持ちに寄り添うことができる人材の育成などはこうした考えがその根底にある。今日の社会変動のもとで、子どもたちとその保護者の意識、行動の変容に適切に対応できる教員の養成が本学部の教員養成の目的である。

このように本学子ども学部子ども学科は、多様化し複雑化する現代の子どもに関わる諸問題を総合的に教育、研究することを目的とし、実証的で問題解決型の教育研究を展開し、子どもの成長に貢献しうる専門職員の育成を目指してきた。

一方、学齢期以上の学校教育の諸問題は、いうまでもなく子どもの成長に密接に関連するものであるが、本学部では学部の開設以来、玉川大学通信教育部との連携により在学中の小学校教諭免許状取得の途を開きながら、学校教育と連携協力する諸機関の専門職員の育成にその直接の役割を限定してきた。

初等教育を担う教員の養成については、これまで国立大学法人を中心とする教育学部が、教科指導力を重視した教員養成で実績をあげているが、しかしながら、今日の子どもの意識、行動は著しく変容し、複雑化した子どもの諸問題に対処するには教科指導の力量に留まらず、多面的な資質、力量が必要とされる。現代の子どもを取り巻く機能的教育主体についての深い認識や学齢期の子どもを対象とする社会教育との連携の担い手としての資質、力量が求められる。幼稚園、保育所との連携を深めて子どもの発達、教育制度上の質的変換期をサポートする人材が小学校の教員集団に加わることも喫緊の課題である。

そこで本学部では、このような今日求められる教員の養成に資するため、本学部において小学校教諭一種免許状を取得できる課程を平成24年度から設置することとした。幼児、初等教育や子どもたちの発達支援の分野での高度な職業的専門性は、教育学、心理学、社会福祉等の子どもの発達に関わる基礎的な学識と、子どもの心に寄り添うことができる豊かな感性、表現能力等の広範な資質、力量が含まれる。本学部の設置当初から脈々と受け継がれてきている「共生」という理念はまさにこうした人材養成に合致するものである。この理念に裏打ちされた本学部のカリキュラムにおいて育まれるこれらの特性と教科指導力が相まって、教員集団の特

徴ある構成員の養成を進めることにより、本学部に課せられた社会的使命をさらに果たすことを目指したと考えている。そのことは、また、従来から注力している幼児教育の担い手の養成においても新たな専門的力量を加えることが期待される。